

## 各職場の問題意識共有

### 三愛病院院内研究発表会

登別・三愛病院（千葉泰二院長）の第11回院内研究発表会がこのほど、登別市中登別町の同院で行われ、看護師や作業療法士らが各職場で研究した成果を披露した。

専門知識の向上と問題意識の共有を図るため、毎年開催している。今回は7人が発表の場に立ち、持ち時間7分で研究内容を発表した。

作業療法士の小野寺直哉

さんは「BESTestを用いた転倒へのアプローチ」がテーマ。介護福祉士の岡崎直人さんは、同法人が人材不足解消に向けて導入した介護助手の役割が、介護士の負担軽減と利用者の活動時間増加につながっているかを調査した。

このほか看護師、社会福祉士、歯科医師からもテーマに基づいた研究が報告さ

れた。質疑も活発に行われ、参加職員が成果を共有していた。

（石川昌希）

研究内容が紹介された発表会

